

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-2-1		事業名	新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置
担当	教育委員会学校教育推進課企画担当 村上 211-3838			
全体計画				
事業内容	札幌市立高等学校教育改革推進計画に基づき、現在ある市立高等学校4校(星園、新川、平岸、啓北商業)の定時制課程を発展的に再編し、午前、午後、夜間の三部制や単位制を取り入れた新しいタイプの定時制高校(市立札幌大通高等学校)を旧大通小学校跡地に新設する。 平成20年度、旧大通小学校校舎を活用して開校、平成21年度内に新校舎完成、平成22年度新校舎への移転を予定している。 校舎の建設等については、民間の活用を進め、設計、建築、維持管理等の事業全体に係る経費の縮減を図るため、PFI手法を導入する。		<年度別の事業内容>	
			<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度 PFI事業者の選定、暫定校舎の改修工事、新校舎の設計協議(PFI事業)、市立学校設置条例の改正、学校設置認可申請、市立高等学校学則の改正、教育内容の決定、生徒募集PR、入学者選抜の実施、科目履修生制度の検討など ・平成20年度 新定時制高校開校、新校舎建築工事(PFI事業) ・平成21年度(末) 新校舎竣工、暫定校舎から新校舎へ生徒引越し ・平成22年度 既存4校の統合(普通科3校の4年生は新定時制高校へ転校、商業科1校の4年生は新校舎へ校舎移転) 	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	PFI事業アドバイザー業務 9,418千円 事業者選定委員会委員報酬 302千円 初度調弁 101,250千円 旧大通小学校改修 34,249千円		PFI事業アドバイザー業務 3,360千円	
事業内容	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	大通高校及び中央幼稚園整備等事業 2,335,543千円 PFI事業アドバイザー業務 5,000千円 初度調弁 102,457千円 物品移動 10,000千円			
規模				
件数				
等				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	1-2-1			事業名	新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
市立札幌大通高等学校の開設	-	準備	開設			開設 (20年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 ホームページなどにより市民への情報提供を行い、開かれた学校づくりに取り組む。 また、新校舎の新築工事期間中の諸問題や学校運営に関して近隣地域に係わる事柄に関するについて、近隣地域と協議・意見交換などを行い、円滑な学校運営を行っていく。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・暫定校舎の改修工事を実施した。 ・事業者選定委員会によりPFI事業者が選定された。 ・事業者と特定事業契約を締結した。 ・新校舎の設計協議を行った。 ・開校準備室に専任の教職員が常駐し、開校準備業務を行った。 ・市立学校設置条例を改正し、20年4月に暫定校舎において、市立札幌大通高等学校を開設した。 			<p>大通高校新校舎に関するPFI事業者との調整業務を密に行う必要がある。</p> <p>また、新校舎の工事や学校運営等に関し、近隣地域の理解・協力が必要であることから、情報提供や協議を必要に応じて行っていく必要がある。(工事以外の生徒指導等に関する事柄は基本的には学校が対応することになるが、教育委員会は学校をサポートする立場で関わる事が想定される。)</p> <p>大通高校については、20年度は1学年のみ、21年度は1,2学年であり、22年度に他定時制から転校してくる生徒を含めて4学年となる。</p> <p>20・21年度は一時的に定時制高校が5校体制となり、また、定時制課程の生徒定員総数は変わらないが、既存校定時制課程と異なり大通高校については、20・21年度において定員を満たしており、市立高校定時制課程の在籍生徒総数は増加している。</p> <p>これらの理由により、22年度以降においても、定員を満たすことが想定されることから、円滑な学校運営ができるよう、在籍生徒総数に応じた予算確保について考えていく必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>PFI手法により整備する市立札幌大通高等学校(平成20年4月に開校。)の新校舎の建設工事及び併設されている札幌市立中央幼稚園の新園舎の建設工事を平成20年度に引き続き行う(平成22年2月竣工予定)。平成22年度に暫定校舎を解体することから、解体工事の住民説明会を事業者により行う予定。</p> <p>また、平成22年度から新校舎の供用が開始される予定だが、地域に開かれた学校づくりを進めるため、新校舎の施設の一部を市民に開放することとし、PFI事業者の業務範囲に、運営事業の一項目として「市民開放施設管理運営業務」を含め、これに伴う使用料の徴収についても、PFI事業者の業務とすることを想定し、「要求水準書」「特定事業契約書」などを作成している。</p> <p>大通高校の市民開放において、利用受付や使用料の徴収事務をPFI事業者に委託することは利用者の大幅な利便性の向上を図ることができることから、これをスムーズに実施できるように準備を進める。</p> <p>加えて、教育内容等に関しては、多様な生徒の学習ニーズに対応した特色ある教育活動の推進を図るとともに、学校の教育機能の地域社会への提供の観点から、学校運営上、支障のない範囲で、一部の科目の学習を希望する社会人を聴講生として受け入れる「科目履修生制度」を、平成21年度後期から本格実施する。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		1-2-1		事業名	新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置			
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	156,400	4,000	2,250,932	258,668	2,670,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	38,430	0	38,430		
	市の債	0	0	1,736,000	0	1,736,000		
	その他の	0	0	0	0	0		
一般財源	156,400	4,000	476,502	258,668	895,570			
予算	事業費	156,400	3,400	2,453,000	-	2,612,800		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	38,464		38,464		
	市の債	0	0	1,200,000		1,200,000		
	その他の	0	0	0		0		
一般財源	156,400	3,400	1,214,536		1,374,336			
実績	事業費	145,219	3,360	-	-	148,579		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0			0		
	市の債	0	0			0		
	その他の	0	0			0		
一般財源	145,219	3,360			148,579			
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					97.4%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度]								
[20年度]								
[21年度]								